

本日の勉強会の記録

◆勉強会と議論

レジュメを読み上げた上で、議論の時間では大きな流れとして

・自分以外の宗教の人々と対話をする事こそが、自分のアイデンティティ(自分の宗教)の形成につながる＝他者との対話が自分自身の反省を促す

という本文の主張の大切さを確認し、それを踏まえて、

・我々は、他者からみた日蓮宗イメージに驚くこともある

・たとえば四箇格言のように、逆に我々自身が日蓮宗のイメージを今後どのように発信していくのか、模索していくことが大きな課題にもなっている

というような話をした後、

・小原克博先生(同志社大学教授・キリスト教の牧師)をお呼びした際に、「日蓮宗のイメージって実際どうですか？どう思われてますか？」ということをやうかがうのも良いかもしれない

・キリスト教はかつて、自宗のフィルターを通して他宗(あるいは他者)を見てきたことに対する反省を行なった(第二バチカン公会議)、その姿勢を我々も学ぶ必要がある(これは講師をお招きする一つの動機となっている)

との検討点があがりました。

◆今後の当会の活動に関して

また、今後の活動の展開に関して、

・もっと対話に興味関心のある人に当会を発信していきたい

とのことで、オープンアクセスのホームページや、ブログなどを用意するのもいいかもしれない、との話が出ました。

また、

・(しんみりと真面目に文献を読むだけでなく)実際に目で見て体験して諸宗教の知識を増やす、考えるより感じるスタイルも良いかもしれない

との意見が出ました。

これを踏まえて、たとえばコロナが落ち着いた次年度には

・宗教美術鑑賞(キリスト教絵画などに触れる)

・神戸など諸宗教の施設が集まる場所を巡る(モスク、シナゴーク、ジャイナ教寺院など)

・オーガナイザーの原應仁師の地元でかくれキリシタン関連の寺院や施設を巡る(仏教とキリスト教との対話という視点で←「諸宗教の対立に関心がある、対立の時代に対話のヒントがあるように思う」との意見を受けて)

など、フィールドワーク的な(プチ旅行的な)ものの検討も試みる事が提案されました。

2020年10月2日 @Zoom
日蓮宗国際交流会 第一回勉強会

◆事務連絡

- ・事務局長の阪田祐光師が当会のホームページを作成している。

◆次回

- ・今回の勉強会の形式を数回続けてみる。
次回は「第六章」、レジュメ担当：研修主任小高絢華師